

8X1 HDMI KVM スイッチ

取扱説明書

ENJOY THE VIVID WORLD

HDMI・KVM

アフターサービス: service@tesmart.com

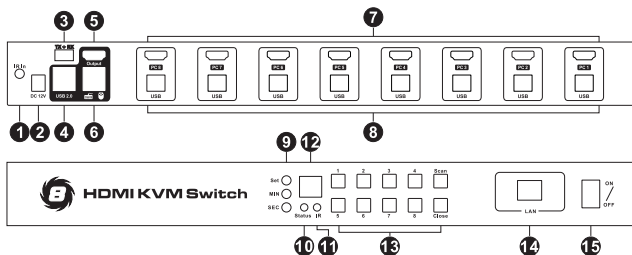
機能紹介：

- 1セットのキーボードとマウスで8台のPCを制御します。
- 解像度は4K@60Hz 4:4:4 までサポートされます。
- Unix/Windows/Debian/Ubuntu/Fedora/Mac OS X/Raspberry PiなどのLinuxベースのRaspbian/Ubuntuシステムをサポートします。
- 各入力ポートにEDIDエミュレータを搭載し、PCの表示情報を常に正しく表示することができます。
- ホットプラグ機能をサポートし、PCをオフにすることなく、いつでもKVMスイッチにデバイスを接続または切断することができます。
- 5つの切り替え方法：フロントパネルボタン、IR信号、キーボードのホットキー、RS232シリアルコマンド、IPコマンド。
- USB2.0ポートに対応し、コードスキャナー、USBハードディスクなどのUSB機器をKVMに接続することが可能です。
- HDMI-DVIアダプタを使用して、DVI-Dシングルリンクソースとディスプレイをサポートします。

パッケージリスト：

- 1*8X1 HDMI KVMスイッチ
- 1*DC 12V電源アダプター
- 1*IRリモコン
- 1*IRレシーバーケーブル
- 1*3ピンコネクタ(RS232用)
- 2*ラックイヤー
- 1*取扱説明書

パネル説明:

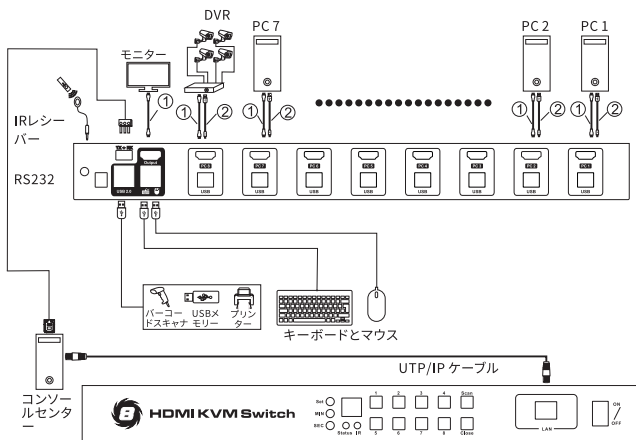


ID	名前	説明
1	IR In	このポートにIRレシーバー延長ケーブルを接続すると、KVMスイッチをラックにマウントした状態でもIR制御が可能になります。
2	DC 12V	12V DC 電源
3	Rs232 ポート	このポートを任意の制御端末に接続し、RS232コマンドを送信することで入力ソースを選択することができます。
4	USB2.0アウトプット	プリンター、USBハードディスク、バーコードスキャナー、タッチパッドなどのUSB2.0機器に適しています。
5	HDMIアウトプット	HDMIモニターに接続します

ID	名前	説明
6	キーボード&マウス インプット	ワイヤレスキーボード、マウスを含む、USBキーボード、マウス入力用
7	HDMI インプット	HDMI入力ソースに接続します。
8	USBデータポート	USB Type A - Type BケーブルでPCと接続します。
9	自動スキャン時間間 隔設定ボタン	<p>「MIN」を押します:「MIN」を押すと、0～59分の間でループします。</p> <p>「SEC」を押します:「SEC」を押すと、0～59秒の間でループします。</p> <p>「SEC」を押します:分と秒を設定した後、ボタン「Set」を押して、最終的なスキャン時間間隔の設定に入ります。</p>
10	状態表示LEDライト	<p>赤:オートスキャンモードをオフにします</p> <p>青:オートスキャンモードをオンにします</p>
11	IR受信機	IR信号を受信します
12	LED表示	現在選択されている入力ポートが表示されます。
13	キーパッド	<p>「1～8」:「1」～「8」ボタンを押して、入力1～8の入力ソースを直接選択します。</p> <p>「off」:このボタンを押すと、LEDディスプレイとモニターのオン/オフを切り替えることができます。</p> <p>「Scan」:このボタンを押すと、入力ソース1～8の間に自動スキャンを開始/停止します。間隔は、上記のように「Set」、「MIN」、「SEC」で設定することができます。</p>

ID	名前	説明
14	LANポート	このポートを介してLANに接続し、同じLAN上の端末機器からTCP/IPコマンドを送信して、入力ポートの切り替えを制御することが可能です。
15	電源スイッチ	電源のオン／オフを切り替える

接続図：



ご注意：①HDMIケーブル ②USB TypeA-TypeBケーブル

基本操作:

1.ポート選択

1.1 フロントパネルのボタンを使用します

ボタン[1]～[8]を直接押して、入力ポート「1～8」を選択します。

1.2 IRリモコンを使用します

「1/A」、「2/B」～「8/H」を直接押して、入力ポート「1～8」を選択します。

1.3 キーボードホットキーを使用します

キーボードの「Scroll lock」キーを2回押し、2秒以内に「1」～「8」を押すと、入力ポート1～8を直接選択できます。

キーボードの「Scroll lock」キーを2回押し、2秒以内に「Page Up」/「Page Down」を押すと、前または次のポートが選択します。

2.ブザーの消音/解除

2.1 IRリモコン

リモコンの「≡」ボタンを押すと、ブザーをミュートまたはアンミュートができます。

2.2 キーボードのホットキー

キーボードの「スクロールロック」ボタンを2回押し、「F11」キーを押すと、ブザーを消音/解除ができます。

3.自動スキャンモードのオン/オフ

3.1 フロントパネルキー

「Scan」キーを押して自動スキャンを開始され、KVMは

自動的に電源が入っている。NETデバイスで循環的にスキャンします。

信号源を指定の時間内に入力し、「Scan」キーをもう一度押して、スキャンを停止します。

3.2 赤外線リモコン

「P」キーを押すと、自動スキャンが開始され、KVMスイッチは指定された時間間隔で、すべての起動した入力ソースを自動的に循環します。

3.3 キーボードホットキー

キーボードの「Scroll lock」キーを2回押したから、2秒以内に「Space」キーを押すと、オートスキャンが開始されます。その後、KVMスイッチは指定された時間間隔ですべての電源を入れた入力ソースを自動的に循環します。「Esc」キーを押すと、スキャンが停止します。

4.自動スキャンモードの時間間隔の設定

フロントパネルボタン「MIN」を押して、0～59分の間で循環します。

フロントパネルボタン「SEC」を押して、0～59秒の間で循環します。

分と秒を設定した後、「SET」ボタンを押して、最終的なスキャン間隔の設定に進みます。

5.マウスジェスチャーの切り替えの利用

キーボードの「Scroll lock」キーを2回押した後、2秒以内に「F12」キーを押すと、マウスジェスチャーの切り替えのオン/オフが切り替わります。

マウスジェスチャーの切り替えモードがオンになっている場

合、1秒以内にマウスポインターをモニターの左または右の境界線に移動すると、KVMスイッチが前または次の入力ソースに切り替わります。

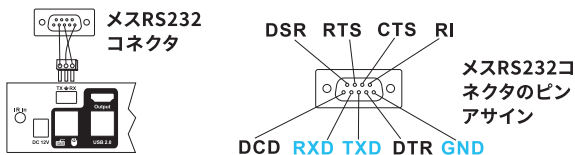
Rs232 と LAN ポートの使い方:

RS232およびLANインターフェースは、入力ソースを選択するためにのみ使用され、キーボードやマウスのデータ、あるいはビデオやオーディオを伝送することはできません。ターミナルコントロールデバイスを通じて入力ソースを切り替える必要がある場合、これは特定の特殊なアプリケーション用の追加デザインです。通常、フロントパネルのボタン、IRリモコン、キーボードのホットキーで入力ソースを切り替えることができます。

RS232とLANポートに関するソフトウェアアプリケーションパッケージとAPIファイルについては、アフターサービスまでお問い合わせください（Windowsシステムにのみ適用されます）。

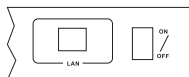
1. Rs232ポートの接続

下の図に示すように、標準の9ピンRS232ポートをパッケージに含まれる3ピンコネクタに接続し、コネクタをKVMスイッチの「TX≒RX」ポートに差し込みます。



2. LANポートに接続する

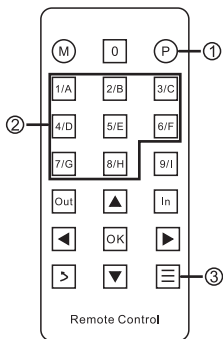
以下の図に従って、Cat5e/6 UTPケーブルを使用してLANポートをLANルーターに接続するか、または直接PCに接続してください。



Cat 5e/6ケーブル

LANルーターに接続するか、PCに直接接続する

IRリモコン:



① — 自動スキャンモードのオン/オフ

KVMスイッチは、指定された時間間隔で、電源に接続されたすべての入力ソースを自動的に切り替えます。指定された時間間隔で入力ソースを自動的に切り替え、「P」キーを押して自動スキャンを停止します。

② — 入力ポートの選択

「1/A」、「2/B」、「3/C」...「8/H」を押して入力1～8を選択します。

③ — 静音/ビープ音の停止

Note: 1. リモコンは電池なしで出荷されます。使用前にCR2025ボタン電池を取り付けてください。

2. 上記に記載されていないボタンは使用できません。

保証サービス：

当社は、本製品を素材および製造上の欠陥に対して、発送日から1年間、無償で保証します。

保証期間中に本製品が通常の使用で故障した場合、機械的、電氣的、またはその他の悪用または改造を受けていないことを条件に、修理または交換を提供します。保証範囲外で故障の場合は、修理時に有効な部品と工賃の価格で修理を行います。このような修理は、購入者に再発送された日から6ヶ月間保証されます。